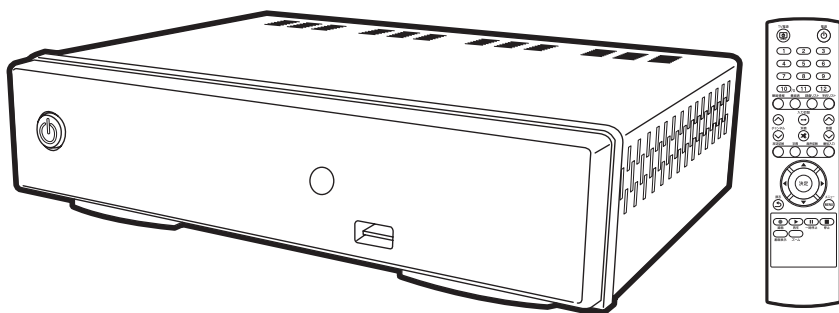
地上/BS/110度CS デジタルハイビジョンチューナー

AKB-PVR102

ユーザーマニュアル

セットアップのながれ

ステップ 1 ■内容物の確認

P.8 参照

▼

ステップ 2 ■B-CAS（ビーキャス）カードをセットする

P.18 参照

▼

ステップ 3 ■本製品をアンテナに接続する

P.19 参照

▼

ステップ 4 ■本製品をテレビに接続する

P.20 参照

▼

ステップ 5 ■本製品の初期設定をする

P.24 参照

本書の使い方

本書をご活用していただく上での表記事項の説明をします。

表記上の約束

●注意マーク・・・・ ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱い時に注意すべき事項です。

●次へマーク・・・・ ➔次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

●参考マーク・・・・ ➔参考 に続くページは、関連する情報の記載があるページを示しています。

文中の用語表記

文中 ［　　］ や〔　〕で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタンなどの名称を表しています。

使用上のお願いとご注意

～ 最初に必ずお読みください ～

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。
お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破損に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意

　お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい重要な内容を記載しています。

　本文を必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。

　いかなるデータの消失・破損または、本書に記載した注意事項を守らずに生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

表示と絵記号の説明

●警告表示の意味

⚠ 警告	「取扱を誤った場合、人が死亡、または重傷※1を負うことが想定されること」を示します。
⚠ 注意	「取扱を誤った場合、人が軽傷※2を負うことが想定されたり、物的損害※3の発生が想定されること」を示します。

※1. 重　　傷：失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2. 軽　　傷：治療に入院や長期の通院を必要としない、けが、やけど、感電などをさします。

※3. 物的損害：家屋・家財およびペットなどにかかわる拡大損害をさします。

●絵記号の意味　△⊘● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	注意を示します。（例：⚠ 感電注意 ）
⊘	禁止 (してはいけないこと) を示します。（例：⊘ 分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。 （例：● プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

強 制

電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。
指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

強 制

本製品の取り付け、使用する際は、必ず周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁 止

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強 制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全だと、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁 止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災や感電の恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に､電源ケーブルを壁やラック(棚)などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 温度の高い場所に置かないでください。熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。
感電や本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。

⚠ 警告

 水場での使用禁止	**風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**
 電源プラグを抜く	**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。** 与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
 電源プラグを抜く	**本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。** 液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
 強 制	**電源ケーブル（または AC アダプター)、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。** 本製品付属以外のものをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 注意

強制	**旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。** 万が一故障したとき、火災の原因となることがあります。
強制	**ハードディスクなどの周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。**
禁止	**次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。** • 強い磁界、静電気が発生するところ。 • 温度、湿度が高い、または結露するところ。 • ほこりの多いところ　➡故障の原因となります。 • 振動のある場所　➡けが、故障、破損の原因となります。 • ぐらつく台の上や傾いたところなど不安定な場所　➡転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。 • 直射日光や光などの過激な熱の発生する場所　➡故障や変形の原因となります。 • 火気の周辺、または熱気のこもる場所　➡故障や変形の原因となります。
禁止	**本製品の上に物を置かないでください。** 傷がついたり、故障の原因となります。
禁止	**シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。** 本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、しぼってから拭き取ってください。
強制	**本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。** 条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

INDEX

目次

はじめに

機器の準備・接続

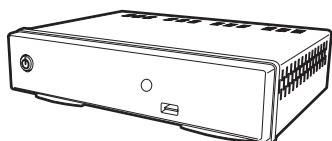
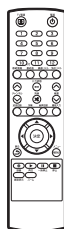
デジタル放送の視聴・録画

付録

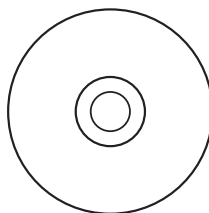
はじめに

本製品を使用する前にご確認ください。

パッケージの内容

パッケージには以下のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

本体× 1

リモコン× 1

単 4 乾電池× 2

AC ケーブル 1.5m × 1

ユーザ・マニュアル・CD-ROM

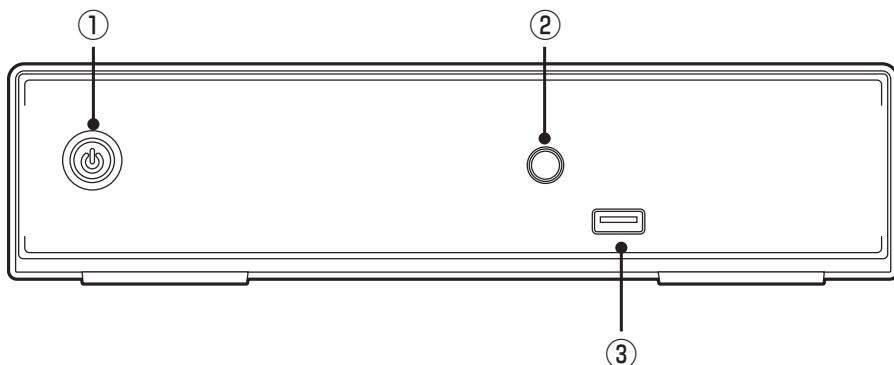
※付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り替えください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

本製品に B-CAS カードは付属しません。B-CAS カードは、必ずお手持ちの株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものご使用ください。

各部の名前と機能

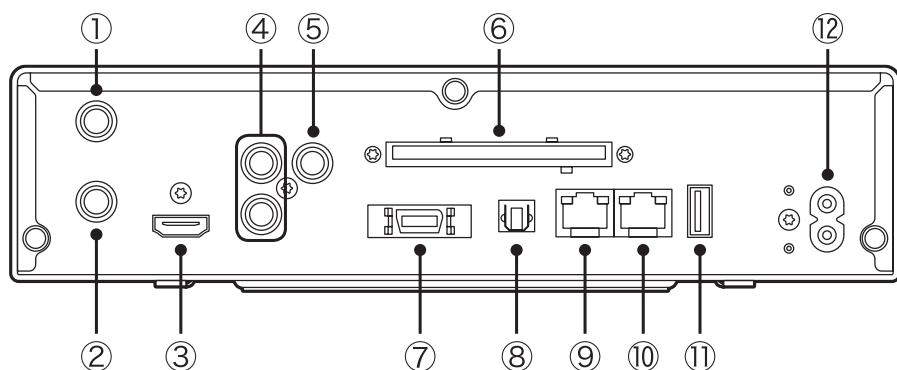
本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体前面

1. **電源ボタン**
   電源の ON/OFF を切り替えます。
2. **リモコン受光部**
   リモコン信号の受光部です。
   ※受光部分の前に物を置いて、リモコン信号を遮ると操作が出来なくなりますのでご注意ください。
3. **USB コネクター**
   録画用ハードディスク（別売）を接続します。

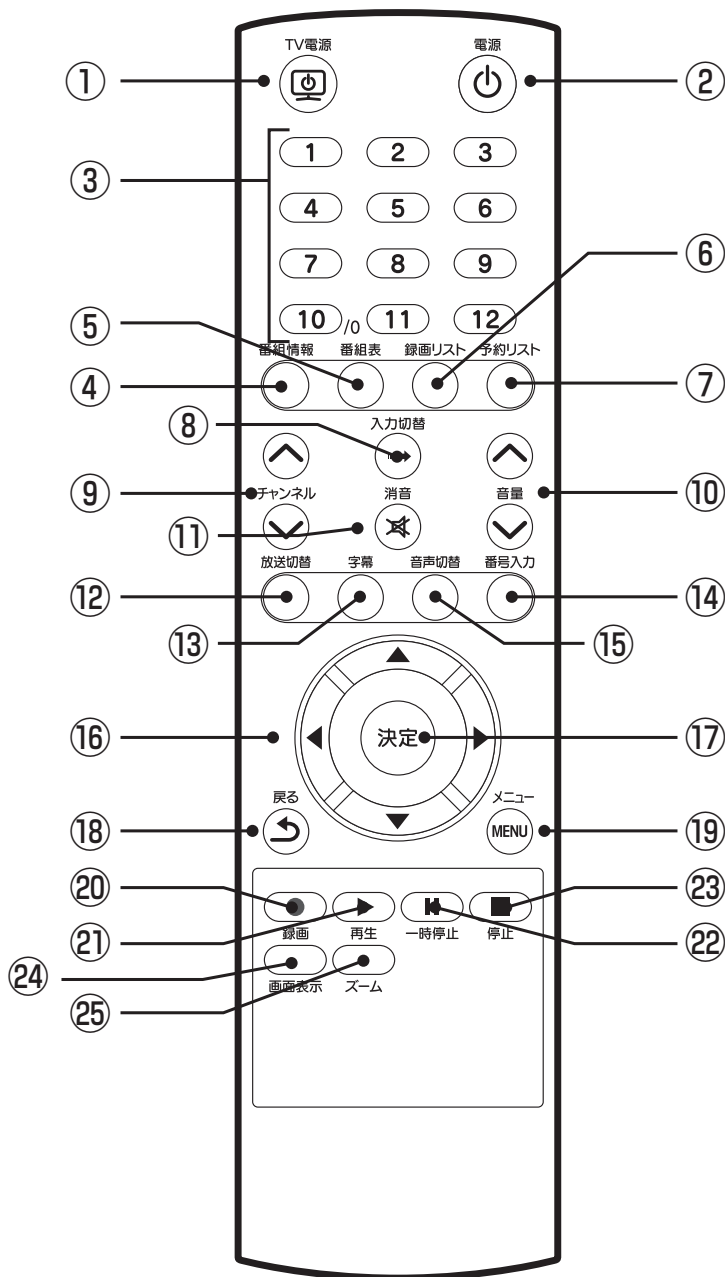
メモ

電源ボタンは、電源の ON/OFF だけでなく、内部に LED が入っており、本製品の状態によって、色と光り方が変化します。

色	光り方	本製品の状態
青	点灯	電源 ON（操作中） または Live 録画中
赤	点灯	電源 OFF（スタンバイ）
紫	点灯	電源 OFF（録画中）

本体背面

1. 地上波デジタルアンテナ入力端子
   地上波デジタル放送対応アンテナと接続します。
2. BS/110 度 CS アンテナ入力端子
   BS または 110 度 CS デジタル放送対応のアンテナと接続します。
3. HDMI コネクター
   HDMI ケーブル(別売)を接続します。
4. 音声出力端子（赤・白）
   AV ケーブル(別売)の音声端子(赤・白）を接続します。
5. コンポジットビデオ出力端子（黄）
   付属の AV ケーブルの映像端子(黄)を接続します。
6. B-CAS カード挿入口
   B-CAS カードを挿入します。
7. D 端子コネクター
   D 端子ケーブル(別売)を接続します。
8. 光デジタル音声出力コネクター
   デジタル音声ケーブル（光角形コネクター）（別売）を接続します。
9. パソコン
   イーサネットケーブルでパソコンに接続します。ケーブルは付属しません。
10. LAN
    イーサネットケーブルでＬＡＮに接続します。ケーブルは付属しません。
11. USB コネクター
    録画用ハードディスク（別売）を接続します。
12. 電源コネクター
    付属の AC ケーブルを接続します。

リモコン

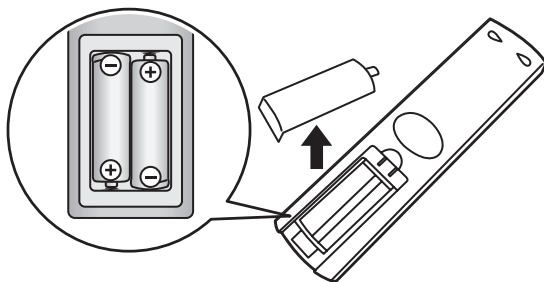
TV電源
電源
①
②
③
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
/0
11
12
⑤
⑥
番組情報
番組表
録画リスト
予約リスト
④
⑦
⑧
入力切替
⑨
チャンネル
消音
音量
⑩
⑪
放送切替
字幕
音声切替
番号入力
⑫
⑭
⑬
⑮
⑯
決定
⑰
戻る
メニュー
MENU
⑱
⑲
⑳
㉓
録画
再生
一時停止
停止
㉑
㉒
㉔
画面表示
ズーム
㉕

No.	リモコンボタン	動作
①	TV 電源	テレビの電源 ON/ スタンバイ状態を切り替えます。
②	電源	本製品の電源 ON/ スタンバイ状態を切り替えます。
③	数字キー	設定メニューでは数字や文字を入力するキーとして使用します。 テレビ視聴中はチャンネルを変更します。
④	番組情報	現在視聴中の番組の詳細を表示します。 表示中は、選択した番組の詳細を表示します。
⑤	番組表	テレビ視聴中に電子番組表（EPG）の表示 / 非表示を切り替えます。
⑥	録画リスト	録画済みの番組をリスト表示します。
⑦	予約リスト	録画予約済みの番組をリスト表示します。
⑧	入力切替	テレビの入力を切り替えます。
⑨	チャンネル順 / 逆	チャンネルを順 / 逆で選局します。
⑩	音量＋ / −	テレビの音量を操作します。
⑪	消音	テレビの音を消音する／しないを切り替えます。
⑫	放送切換	地デジ、BS などの放送を切り替えます。
⑬	字幕	字幕放送の字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
⑭	番号入力	チャンネルを３桁の番号で入力できるようにします。
⑮	音声切替	音声を切り替えます。

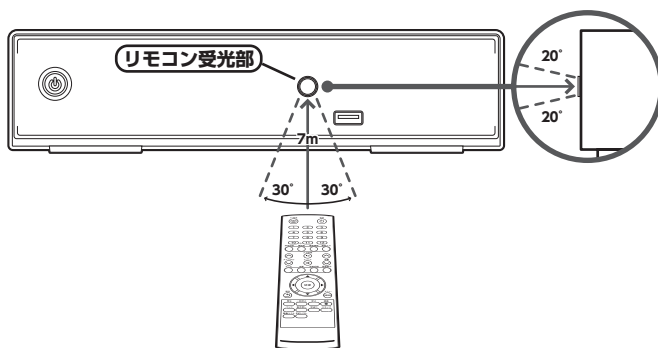
No.	リモコンボタン	動作
⑯	方向キー	カーソルを移動します。
	方向キー（録画番組再生時）	録画番組再生時には以下の動作を行います。 ▲＝スキップ：一回押すと 30 秒進みます。 ▼＝バック：一回押すと 15 秒戻ります。 ◀＝巻き戻し：再生中に押すと巻き戻しします。巻き戻し速度は押すごとに、× 2、× 4、× 8、× 20 に変更できます。 ▶＝早送り：再生中に押すと早送りします。早送り速度は押すごとに、× 2、× 4、× 8、× 20 に変更できます。
⑰	決定	選択した項目を決定します。
⑱	戻る	一つ前の画面に戻ります。
⑲	MENU	テレビメニューを表示します。
⑳	録画	現在視聴中の番組を録画します。
㉑	再生	録画した番組を再生します。
㉒	一時停止	録画番組の再生中に押すと再生を一時停止します。 番組録画中に押した場合は録画を一時停止します。
㉓	停止	録画番組の再生を停止します。 （録画中の取り消しはしません）
㉔	画面表示	番組情報の表示／非表示を切り替えます。
㉕	ズーム	画面をズーム表示する／しないを切り替えます。

リモコンに電池を入れる

①リモコンのフタを取外します。リモコン裏面のツメを手前に引きながら、フタを上に持上げて取外してください。

②付属の乾電池を入れます。⊕と⊖の向きはリモコンに記載されています。

③フタを元どおりに取付けます。

⚠注意　⊕と⊖の向きを確認して、正しく入れてください。
乾電池を交換する場合、2本とも新しい同じ種類のものに交換してください。

リモコンの使いかた

●リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。
●リモコンを使用できる角度は、上下約 20°、左右約 30°です。
●リモコンを使用できる距離は、本機正面で約 7m 以内です。
●テレビを操作するときは、テレビのリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンでテレビを操作できるように設定する

本製品のリモコンでお使いのテレビの操作をすることができます。

1

リモコンの 決定 ボタンと TV 電源 ボタンを同時に 3 秒以上押します。

2

決定ボタンと TV 電源ボタンを離したら、10 秒以内に、下の表を参照して、お使いのテレビにあった番号を入力します。
設定操作例（SONY の場合）
ソニーの番号“1701”を入力します。

3

お使いのテレビを操作できるかどうか確認してください。
例えば“1701”では操作できない場合は、“1702、1703、1704”のいずれかで設定してください。

メーカー	番号
AIWA	2401 ～ 2403
LG	0601 ～ 0605
Samsung	1401 ～ 1408
三洋	1501 ～ 1512
JVC	0301 ～ 0303
SHARP	1601 ～ 1606
Sony	1701 ～ 1704
東芝	2001 ～ 2005
パイオニア	1101 ～ 1102
Panasonic	0901 ～ 0911
日立	0401 ～ 0406
FUNAI	2301 ～ 2303
三菱	0701 ～ 0708

※メーカ名はあいうえお順です

⚠注意 **出荷時の設定へのリセット方法**

※出荷時の状態に戻すには、番号を "0000" と入力ください。

制 限 事 項

本製品には以下の制限事項があります。

■本製品は、デジタル放送の双方向サービスには対応しておりません。

■製品本体からの放熱について

本製品を使用中に本体表面に触れると熱く感じますが使用上の問題はありません。製品本体から放熱する構造となっていますので、設置には次の事項に注意してください。

・本製品の上に物をのせないでください。

・本製品の周囲には通気に必要なスペースを十分にあけてください。

■本製品に USB ハードディスクを接続して録画する場合、次の制限があります。

・字幕放送の録画には対応していません。

・番組によっては録画再生時の音声の切り替え（主／副音声）ができないことがあります。

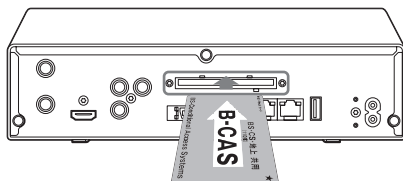
・番組の録画データは、著作権保護のために暗号化されています。録画に使用した本体とハードディスクのみで再生が可能です。

機器の準備・接続

本製品を使用するために必要な準備、接続方法について説明しています。

B-CAS カードをセットする

B-CAS カードはデジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。デジタル放送を視聴・録画するにはお手持ちの B-CAS カードを本製品にセットする必要があります。

右図のように矢印マークのある方を上にして背面の挿入口に B-CAS カードを挿入してください。

⚠注意 **【B-CAS カードの取り扱い上のご注意】**

B-CAS カードをセットするときには、裏向きや逆方向で挿入しないでください。挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。

また、B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。

本製品ご使用中は､抜き差ししないでください。視聴できなくなることがあります。

- 折曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードの金属端子（IC［集積回路］部）には触れないでください。
- 水をかけたりぬれた手でさわったりしないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- B-CAS カードを抜く場合は、必ず AC プラグを AC コンセントから抜き、ゆっくりと B-CAS カードを抜いてください。

【B-CAS カード保管の際の注意】

B-CAS カードは、デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

破損や紛失した場合は､ただちに下記の B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。

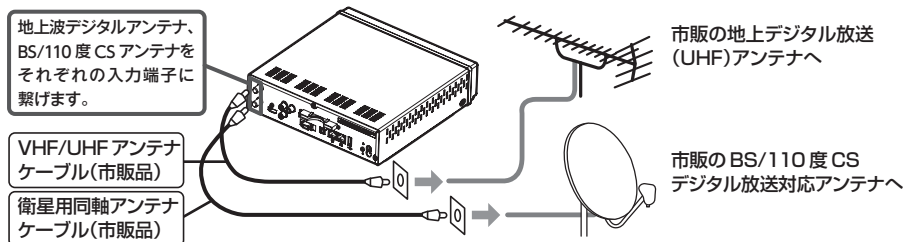
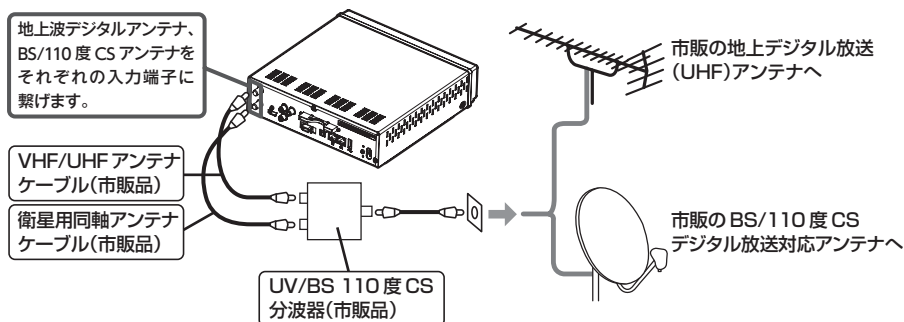
破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。

また、第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

B-CAS カードについては
B-CAS カードカスタマーセンター（TEL：0570-000-250）にお問い合わせください。

➜次へ **本製品をアンテナに接続します。【P.19】**

本製品をアンテナに接続する

地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送の
信号が混合アンテナでない場合

地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送の
信号が混合アンテナの場合（マンションなど）

⚠注意

- F 型コネクター以外のアンテナケーブルで取り付ける場合、別途変換アダプターをご用意ください。
- すでに壁のアンテナ端子とテレビを接続している場合は、市販のアンテナ分配器を使用して、アンテナ線を分配して接続することで本製品とテレビの両方で接続する事ができます。
- ケーブルテレビをご利用の場合（ケーブルテレビ専用チューナーに接続する場合）、ケーブルテレビがパススルー方式に対応している必要があります。取り付けについてはケーブルテレビのご契約会社にご相談ください。

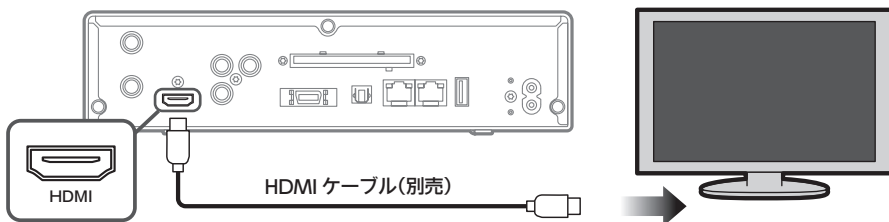
 本製品をテレビに接続します。【P.20】

本製品をテレビに接続する

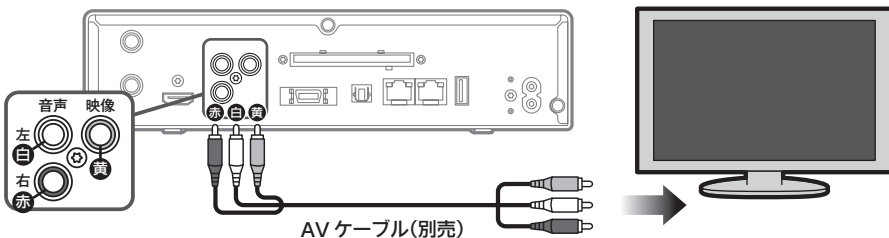
お使いのテレビの HDMI コネクターや D 端子に本製品を接続します

⚠注意 **複数の映像出力端子を同時に接続して使用することは推奨いたしません。**

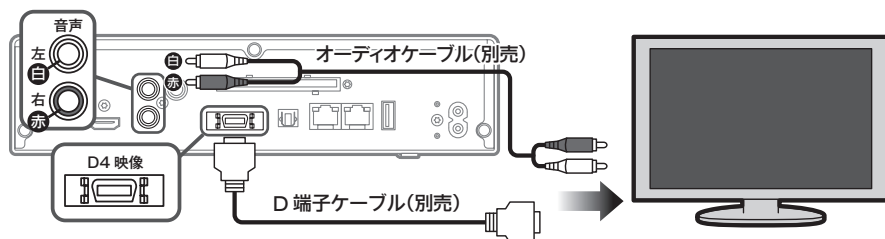
HDMI コネクターに接続する

お使いのテレビに HDMI 端子がある場合、より高品質な映像をご覧頂く事ができます。
市販の HDMI ケーブルを使用して、本製品とテレビの HDMI 端子を接続します。

➜次へ **本製品に電源ケーブルを接続します。【P.23】**

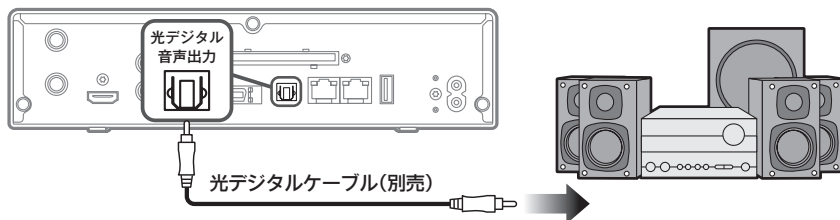
AV ケーブルで接続

市販の AV ケーブルでテレビ（ビデオ映像コンポジット入力）と本製品を接続します。
（赤）（白）（黄）のそれぞれのコネクターを本製品の同じ色の端子に差し込んでください。

➜次へ **本製品に電源ケーブルを接続します。【P.23】**

D 端子に接続する

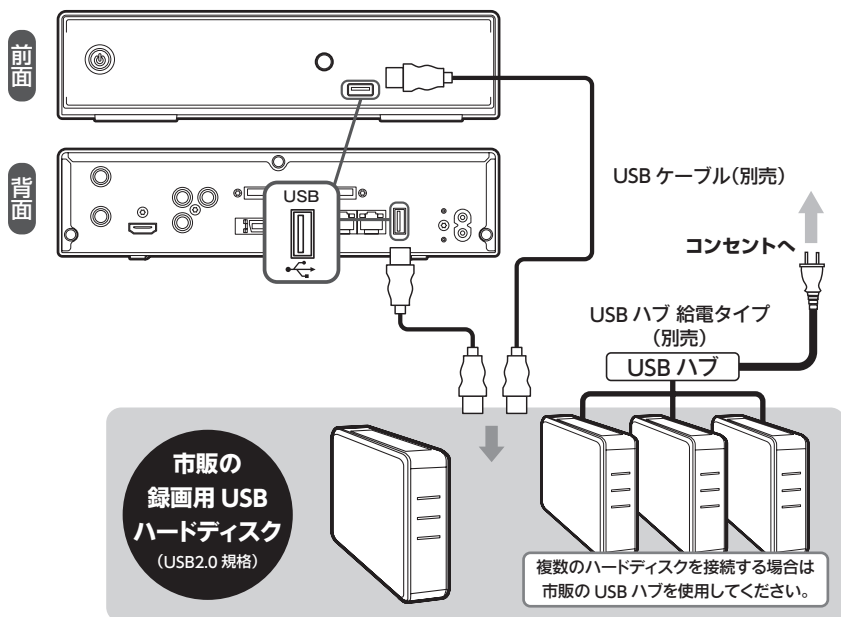
お使いのテレビに D 端子がある場合、下図を参考に接続してください。
D 端子に接続するには、市販の D 端子ケーブルと音声出力用にオーディオケーブルが必要となります。

➔次へ　本製品に電源ケーブルを接続します。【P.23】

本製品に音響機器を接続する場合

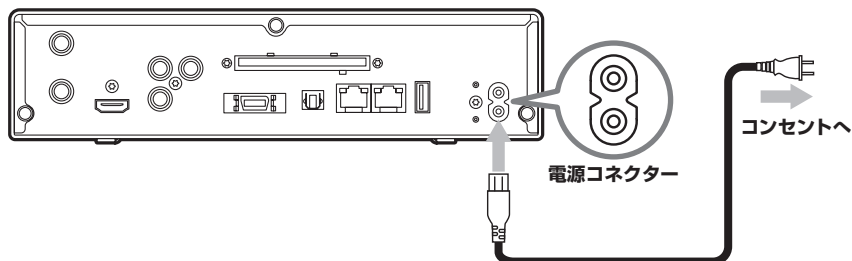
市販の光デジタルケーブルで本製品の光デジタル音声出力端子とホームシアターシステムなどを接続して、より高品質な音声を楽しむ事ができます。接続する音響機器がドルビーデジタルに対応している場合には、さらに迫力のある音声を楽しめます。

➔次へ　本製品に電源ケーブルを接続します。【P.23】

本製品に録画用ハードディスクを接続する

本製品の USB コネクターに、市販の USB ハードディスク（USB2.0）を接続する事で、デジタル放送の番組を録画・視聴することができます。

⚠注意

- **USB ハードディスクアクセス中（番組録画 / 再生中）に本製品からハードディスクを取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常に行えなくなる事がありますのでご注意ください。**
- **USB ハードディスクにアクセスしていない状態であればそのまま取り外していただけます。**
- **本製品に接続できるハードディスクの最大同時接続数は 7 台です。2 台以上の USB ハードディスクを使用するときは、市販の USB ハブに接続してから本製品の USB コネクターに接続してお使いください。**
- **USB ハブは給電タイプのものを使用してください。バスパワータイプのものでは動作しない、もしくは動作が不安定になる場合があります。**
- **本製品の初期設定時、またはファームウェアのアップデート時は、本製品に USB ハードディスクなどの機器を接続しないでください。**

本製品に電源ケーブルを接続する

付属の電源ケーブルを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。

➔次へ　本製品の初期設定をします。【P.24】

本製品の初期設定をする

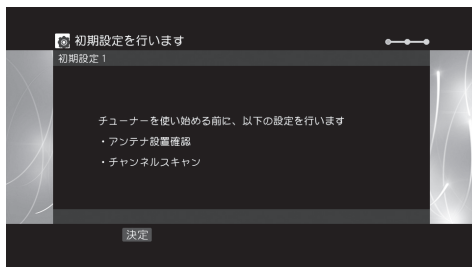
本製品の初期設定を行います。

⚠注意 **初期設定時､本製品のUSBコネクターにはハードディスク等の機器を接続しないでください。**
本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

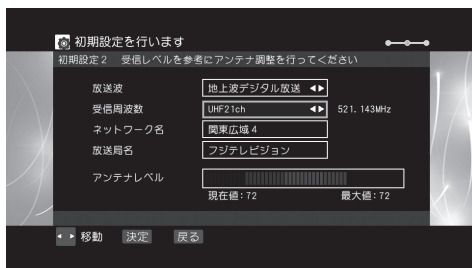
1

テレビの電源を入れ、テレビのリモコンの［入力切換］ボタンや［ビデオ］ボタンを押して､テレビの入力切換を行い､本製品が接続されている入力に切り替えます。

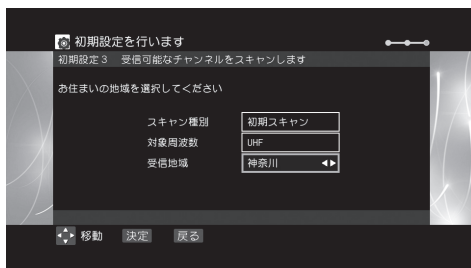
2

本製品にACケーブルをつなぎ、本製品の電源ランプが青色に点灯したことを確認します。
初めて電源を入れた場合と、機器の設定を初期化した場合は、右図の〔初期設定〕画面が表示されます。
TVアンテナ線が正しく接続されていることを確認し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

➔参考 **リモコンのボタンを確認する。【P.12】**

3

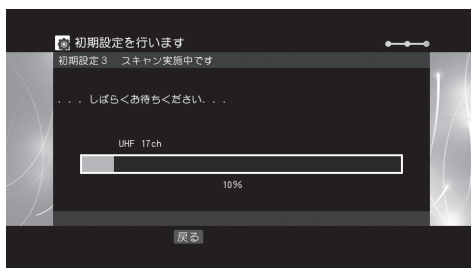
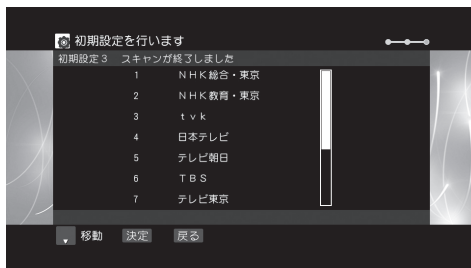
TVアンテナの受信レベルが測定されます。リモコンの［▲▼◀▶］を押して、ご利用される放送波（地上波デジタル・BS・110度CS）と、受信周波数を選択します。
周波数で正常に受信出来ているかを確認し、問題がなければリモコンの［決定］ボタンを押します。

➔参考 **本製品をアンテナに接続します。【P.19】**

4

受信可能なチャンネルのスキャンを行います。〔初期スキャン〕リモコンの ▲▼◀▶ キーを押して、スキャン種別〔初期スキャン〕、対象周波数〔UHF〕、受信地域〔ご利用される地域〕を選択し、リモコンの 決定 ボタンを押してください。

⚠注意　ケーブルテレビをご利用の方は、対象周波数を全周波数に設定してください。

5

本製品が自動でスキャンをはじめますのでしばらくお待ちください。

6

スキャンが完了すると、ご利用地域で受信出来るチャンネルの一覧が表示されます。正しくスキャンが行われたことを確認し、リモコンの 決定 ボタンを押します。

リモコンの 決定 ボタンを押すと、TV の視聴画面に切り替わります。
これで初期設定は完了しましたので、TV の視聴が可能となります。
また、リモコンのチャンネルボタンには視聴可能なチャンネルがすでに設定されていますので、ご利用地域の放送局が視聴できるかをご確認ください。

➔参考　リモコンのボタンを確認する。【P.12】

➔次へ　その他の設定をする。【P.26】

その他の設定をする

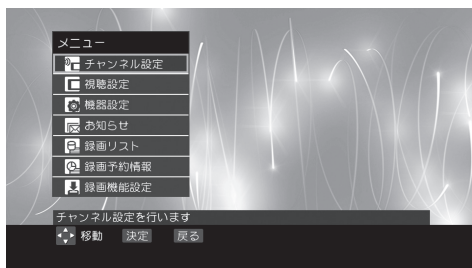
リモコン、画面表示、機器情報などに関する設定を行います。お使いの環境で必要に応じて設定を行ってください。

リモコンのチャンネルボタンを設定する

付属のリモコンのチャンネルボタンを使いやすい様に割り当てます。

参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。〔チャンネル設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔チャンネル設定〕メニューから、リモコンの ▲▼◀▶ キーを押して、〔リモコン設定〕を選択しリモコンの 決定 ボタンを押します。

3

【地上波デジタル放送の場合】
リモコンの ▲▼◀▶ キーを押して、〔地デジ設定〕を選択してリモコンの 決定 ボタンを押します。

❹

現在設定されている一覧が表示されます。リモコンの ▲▼◀▶ キーを押して、変更したい放送局を選択し、新たに登録したい番号のリモコンの 数字キー ボタンを押します。新たなチャンネル番号が入力されます。設定が終わったらリモコンの 決定 ボタンを押して設定を完了します。

❺

【BS 放送の場合】

【110 度 CS 放送の場合】

〔リモコン設定〕のメニューからそれぞれの放送受信時の設定を呼び出してください。

❻

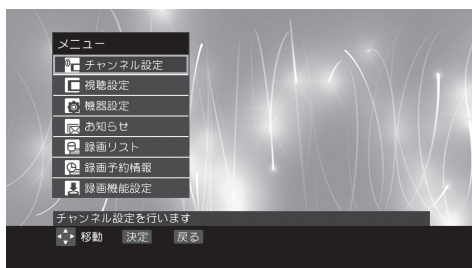
❹と同様に割り当てたい放送局を選択し、リモコンの 数字キー ボタンを設定します。

受信チャンネルを再設定する

初期設定時に設定した内容に変更があった場合（転居、放送局の新設や中継局の開局など）には受信チャンネルの再設定を行う必要があります。

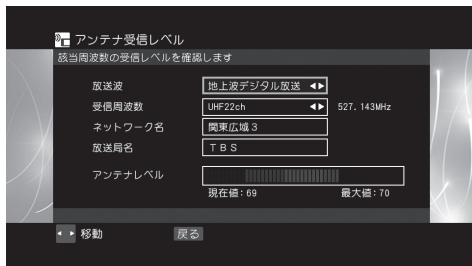
⚠注意 「CATV をご利用の場合は、ご契約の CATV 会社に伝送方式をお問い合わせください。本製品は、パススルー方式に対応しておりますが、その他の伝送方式には対応しておりません。」

1

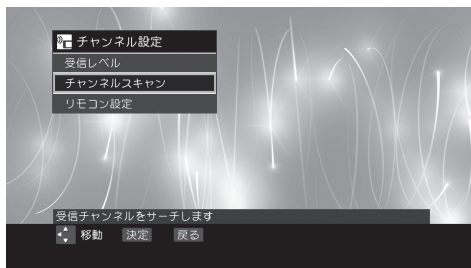
リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。〔チャンネル設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

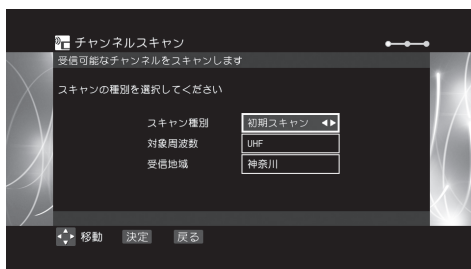
アンテナ線を接続し直したり、追加した場合は、再度アンテナの受信レベルを確認します。〔チャンネル設定〕メニューから〔受信レベル〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

接続し直したり、新たに追加した放送が正しく受信が出来ているか確認してください。

4

アンテナ受信レベルが正常に受信出来ていることを確認したら、〔チャンネル設定〕メニューから、リモコンの ▲▼◀▶ キーを押して、〔チャンネルスキャン〕を選択し、リモコンの 決定 ボタンを押します。

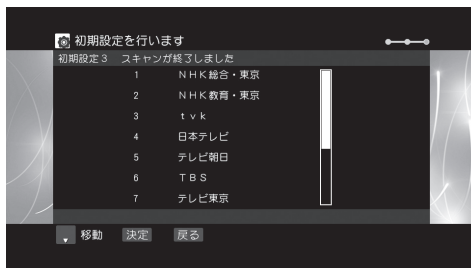
再度受信可能チャンネルのスキャンを行います。

5

リモコンの ▲▼◀▶ キーを押し、用途に合わせて〔スキャン種別〕〔対象周波数〕〔受信地域〕を設定し、リモコンの 決定 ボタンを押すと再度チャンネルスキャンを行います。

初期スキャン：これまでのチャンネル情報は削除され、新たに地域別の受信チャンネルを設定します。

再スキャン：現在のチャンネル情報を保持したまま、新たに指定地域の受信チャンネルを設定します。

対象周波数：「UHF」を選択した場合は、「UHF」のみを、「全周波数」を選択した場合は、「UHF」「VHF」「CATV」を含めた周波数をスキャンします。

6

スキャンが完了すると、ご利用地域で受信出来るチャンネルの一覧が表示されます。正しくスキャンが行われたことを確認し、リモコンの 決定 ボタンを押します。

➜参考　本製品をアンテナに接続する。【P.19】

お使いのテレビの画面に合わせた表示にする

お使いになるテレビ画面に合わせた表示設定をします。

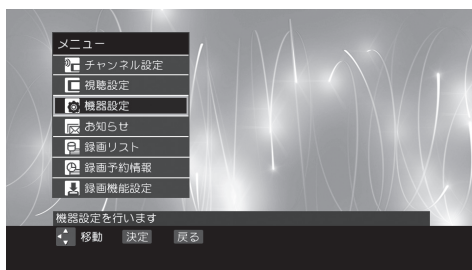
ワイドテレビ　　　：ワイドテレビに接続する場合

4：3 レターボックス　：標準テレビに接続する場合

D 端子設定の出力解像度の初期値：1080i

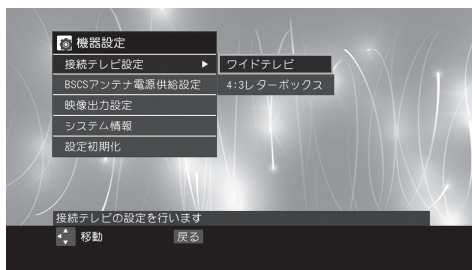
※ D 端子でテレビと接続した場合、お使いのテレビが D1/D2 端子対応のテレビの場合には、表示されないことがあります。その場合には、AV ケーブル（別売）で接続後、正しい D 端子設定へ変更してください。

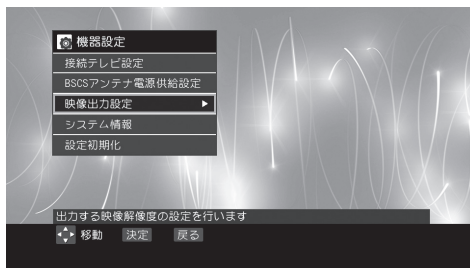
1

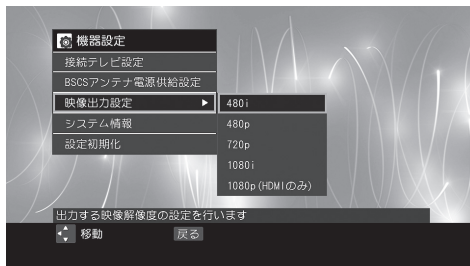
リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。
〔機器設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔機器設定〕メニューから〔接続テレビ設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

ご利用のテレビに合った設定を選択します。リモコンの ▲▼◀▶ キーで、16：9 のワイド表示が可能なテレビの場合は〔ワイドテレビ〕をワイド表示が出来ない通常のテレビは〔4：3 レターボックス〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

4

ご利用のテレビに最適な解像度出力を設定します。〔機器設定〕メニューからリモコンの［▲▼◀▶］キーを押して、〔映像出力設定〕を選択してリモコンの［決定］ボタンを押します。

5

本製品が接続されているテレビと接続方法から最適な解像度を選択しリモコンの［決定］ボタンを押します。

■出力解像度の参考例

デジタル出力 ➡	【1080i(初期設定値) 】、480i、480p、720p、1080p
アナログ出力 ➡	【1080i(初期設定値) 】、480i、480p、720p

※詳しくは接続しているテレビの取扱説明書などをお読みください。

➡参考 **テレビの接続方法を確認する。【P.20】**

字幕・文字スーパーの表示

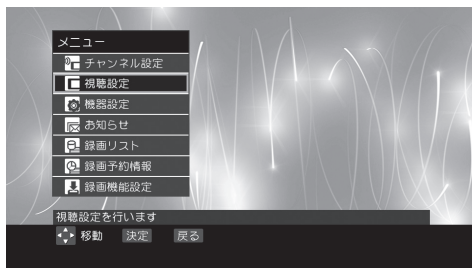
デジタル放送では、放送されている映像・音声の他に字幕や文字スーパーなどが付加して送られています。この設定により、字幕・文字スーパーが放送に付加して送られている場合に、表示することができます。

字　　幕　　：放送に連動した音声字幕

文字スーパー　：放送に連動しない字幕サービス（ニュース速報、災害情報など）

字幕ボタンにより、表示ON/OFFは切り替えられ、その最終状態がこの設定値として保存されます。

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。
リモコンの ▲▼◀▶ キーを押して、〔視聴設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔視聴設定〕メニューから〔字幕表示設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

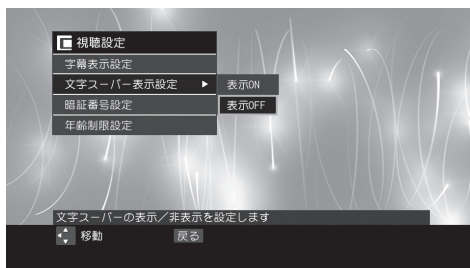
リモコンの ▲▼◀▶ キーで「表示ON」または「表示OFF」のいずれかを選択し、リモコンの 決定 ボタンを押します。

➜参考　**視聴時に字幕を表示する【P.41】**

4

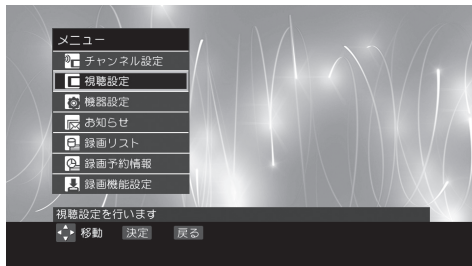
ニュース速報、地震情報などの字幕情報サービスの表示設定を行います。
〔視聴設定〕メニューから〔文字スーパー表示設定〕を選択して、リモコンの［決定］ボタンを押します。

5

リモコンの［▲▼◀▶］キーで「表示 ON」または「表示 OFF」のいずれかを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

暗証番号を設定して視聴を制限する

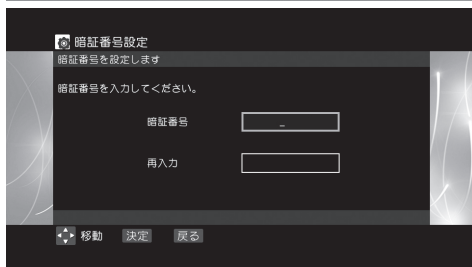
本製品に暗証番号を設定して視聴を制限することができます。

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。
〔視聴設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔視聴設定〕メニューから〔暗証番号設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

認証画面が表示されます。はじめて暗証番号を設定する場合は、出荷時の暗証番号**「0000」**を入力、すでに暗証番号を設定している場合は、設定した暗証番号を入力してリモコンの 決定 ボタンを押してください。
暗証番号の変更画面が表示されますので、新たな暗証番号を入力してリモコンの 決定 ボタンを押して暗証番号を設定します。

4

テレビ視聴に年齢制限を設ける場合には、〔視聴設定〕メニューから〔年齢制限設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

5

認証画面が表示されます。
暗証番号を設定していない場合は出荷時の暗証番号**「0000」**を、❸で新たな暗証番号を設定した場合は新たな暗証番号を入力して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

6

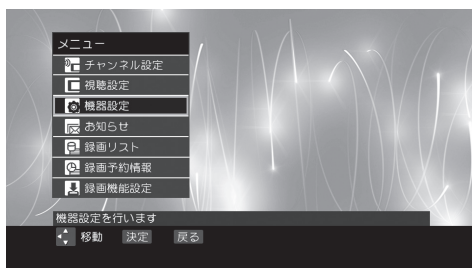
年齢設定画面が表示されるので、視聴を制限したい年齢を選択してリモコンの 決定 ボタンを押します。

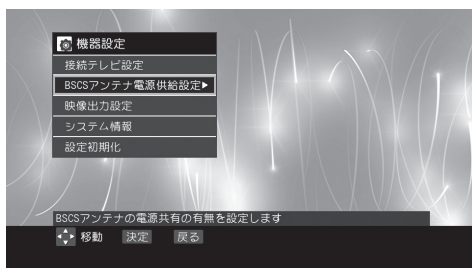
年齢制限設定をしておくと、一部の CS 放送などの視聴年齢制限がある番組では❸で設定した「暗証番号」の入力を求められます。これにより設定した年齢以下の子供にはふさわしくない内容の番組などを視聴させないようにすることができます。（ペアレンタルロック機能）

BS/110 度 CS アンテナの電源を管理する

本製品から、BS/110 度 CS デジタル放送用の衛星アンテナに電源を供給する、または供給しないの設定をします。
個人で衛星アンテナを設置している場合は、『供給あり』に設定してください。マンションなどで、共同アンテナを利用する場合は、『供給なし』に設定してください。
なお、BS/110 度 CS デジタル放送をご覧にならない場合には、『供給なし』に設定してください。

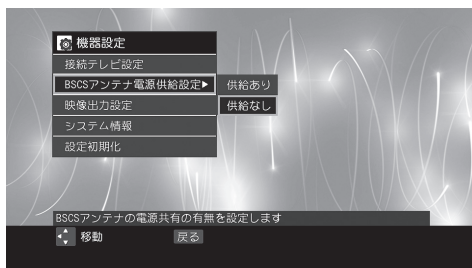
1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。
〔機器設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔機器設定〕メニューから〔BSCS アンテナ電源供給設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

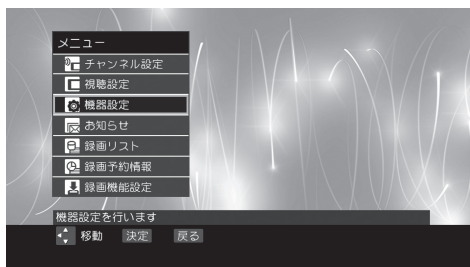
「供給あり」または「供給なし」を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

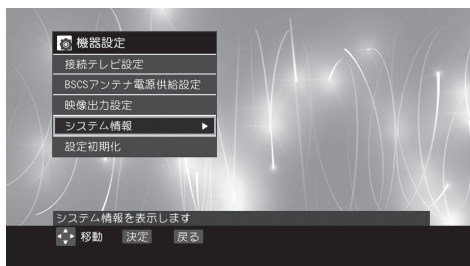
「供給あり」の場合➡
衛星アンテナ（BSCS アンテナ）へ電源を供給します。

「供給なし」の場合➡
衛星アンテナ（BSCS アンテナ）へ電源を供給しません。

システム情報を表示する

本製品に挿入されている B-CAS カードの情報やシステムのバージョン情報を表示します。

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。〔機器設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔機器設定〕メニューから〔システム情報〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

B-CAS カードの情報と本製品のシステムソフトウェアのバージョンが表示されます。

本製品を初期化する

本製品を工場出荷時の状態にリセットします。

⚠注意 **設定初期化時には、機器やデータが破損する恐れがありますので、本製品の USB コネクターにはハードディスク等の機器を接続しないでください。**

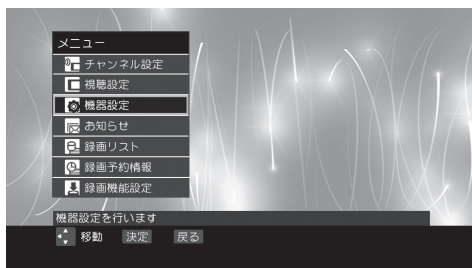
チャンネル設定や録画予約情報など全ての設定が消去されますのでご注意ください。

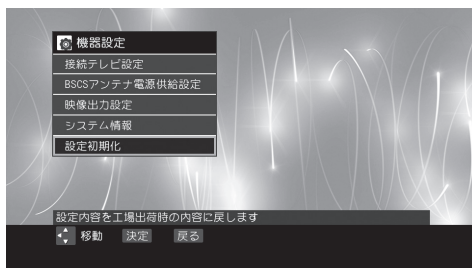
※ハードディスクに録画された番組は、ハードディスクを初期化しない限り、再度ハードディスクを登録することで視聴が可能になります。

➔参考 **新しいハードディスクを登録する。【P.43】**

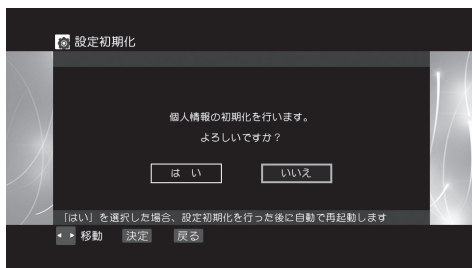
1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。

〔機器設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔機器設定〕メニューから〔設定初期化〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

初期化を行うメッセージが表示されます。「はい」を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押してください。

初期化が完了すると自動で再起動しますのでしばらくお待ちください。

⚠注意 **再起動が完了するまで 2 分ほどかかります。その間、機器やデータが破損する恐れがありますので、絶対に電源を切ったり機器を接続したりしないでください。**

デジタル放送の視聴・録画

地上デジタル、BS/110 度 CS デジタル放送の視聴、録画予約について説明しています。

デジタル放送を視聴する

本製品では「地上デジタル」、「BS デジタル」、「110 度 CS デジタル」の 3 種類を受信することが可能です。これらを切り替えて視聴したり、電子番組表（EPG）、字幕、番組情報などのデジタル放送の各種サービスを利用することができます。

地デジ、BS、CS を切り替える

リモコンの 放送切替 ボタンを押して、それぞれの放送に切り替えることができます。

地上波デジタル➡ BS デジタル➡ 110 度 CS デジタルの順で切り替わります

➡参考 **リモコンのボタンを確認する。【P.12】**

⚠注意 **【地上 /BS/110˚ CS デジタル放送の視聴について】**

- 既存のアンテナ設備では、デジタル放送を受信できない場合があります。その場合は、デジタル放送対応アンテナを接続してください。
- アンテナの受信感度が低い場合はアンテナを調整して頂くか、もしくはデジタル放送対応のブースターで電波を増幅してください。
- 放送局の受信エリア内であっても、ご利用場所の電波受信状況によってはご視聴いただけない場合があります。（建物や地形などにより電波が遮られる場合など）
- 受信電波が不安定な場合、ブロックノイズが現れたり映像が途切れたりすることがあります。
- BS デジタル放送、110˚ CS デジタル放送の受信には、各デジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。
- 分配器やブースター等をご利用の場合は、各デジタル放送に対応した機器が必要です。
- BS や CS の有料放送を受信するには、各放送サービス会社との契約が必要です。

【ケーブルテレビ（CATV）の視聴について】

- ケーブルテレビ会社からの配信方式がパススルー方式であれば、本製品をご利用いただけます。
- 配信方式については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- CATV を受信している時は電子番組表のデータが受信できない場合があります。CATV 会社にご確認ください。
（CATV 局側で放送局の電波を改変せずに再送信している場合は利用できます。）

視聴中に様々な情報を表示する

デジタル放送視聴中にリモコンの 画面表示 ボタンを押すと、現在視聴しているチャンネル番号、番組名などが表示されます。この画面は５秒間表示されると元の画面に戻ります。〔視聴設定〕画面で設定していただくことで常に表示することもできます。

また、 番組詳細 ボタンを押すことで番組の詳細情報を表示する事ができます。

①が表示されている間に再度、 画面表示 ボタンを押すと、②のようにチャンネル番号のみ表示されます。

➡参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】

視聴中に字幕を表示する

地上波デジタル視聴中にリモコンの 字幕 ボタンを押すと、放送番組の音声の字幕を表示することが出来ます。〔視聴設定〕画面で設定していただくことで常に表示することもできます。

➡参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】
字幕・文字スーパーの表示。【P.32】

音声を切り替える

音声切換 ボタンを押すことで、現在の音声情報が表示されます。
このボタンを押すたびに、切り替える音声がある場合には、最大８音声まで切り替えることができます。
また、二重音声番組の場合には、主音声➡副音声➡主／副音声の順に切り換わります。

➡参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】

チャンネル番号を入力してチャンネルを切り替える

リモコンのチャンネルボタンに登録されていないチャンネルなどを選局するには、リモコンの 番号入力 ボタンを押して、チャンネル番号入力に切り替えます。番号入力欄が表示されますので、チャンネルボタンを使用してチャンネル番号（３桁）を入力してください。

➡参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】

電子番組表（EPG）を使用する

テレビ番組視聴中に、リモコンの 番組表 ボタンを押すと電子番組表（EPG）をテレビ画面に表示させることができます。電子番組表に表示されるのは、現在視聴している放送局の番組表です。
また、番組表表示中には以下の操作をすることができます。

［視聴・録画予約］
番組表から番組を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押すと、番組の詳細情報が表示され、現在放送されている番組の場合は、「視聴」または「録画予約」、これから放送される番組は「録画予約」を選択することができます。
※放送中の番組を「録画予約」した場合は予約登録時から番組終了時間まで（または P.45 のダイレクト録画時間設定で設定されている時間）での録画となります。

［移動］
リモコンの「◀」「▼」「▶」「▲」ボタンを押して番組表を移動する事ができます。
「◀」「▶」を押すことで、チャンネルを移動します。
「▼」「▲」を押すことで、時間帯を移動します。

［日時単位での移動］
現在の曜日から、前日へ移動する場合は、⑳の録画ボタンを押して下さい。現在に戻す場合は、㉑の再生ボタンを押して下さい。また、翌日へ移動したい場合は、㉒の一時停止ボタンを押して下さい。

➜参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】

マルチ編成の番組を視聴する

デジタル放送の番組によっては標準画質の放送を最大３番組を同時に放送する場合があります。
その場合、マルチ編成の各チャンネルへ切り替えるには、現在視聴しているチャンネルに割り当てられているリモコンの 数字キー ボタンを押すことで切り替えることができます。

➜参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】

デジタル放送を録画予約する

本製品は、市販の USB2.0 規格のハードディスクを接続することで、高画質のデジタル放送の番組をそのままのクオリティで録画することができます。

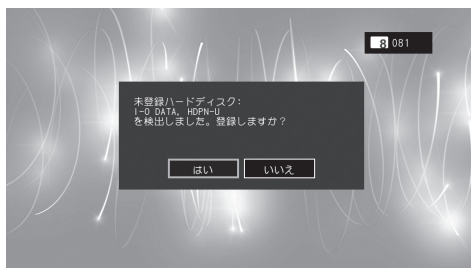
新しいハードディスクを登録する

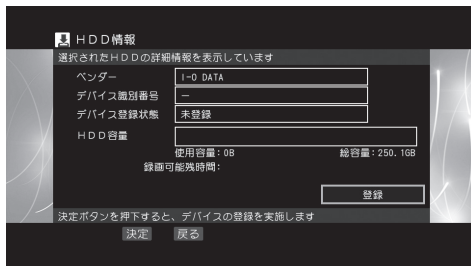
本書の P.22 を参照して、USB ハードディスクを正しく接続してください。本製品との接続が終わったら接続したハードディスクを本製品に登録します。登録が行われていないハードディスクを使用することはできません。また、はじめて登録されるハードディスクは、本製品が登録時に初期化を行います。ハードディスク内のデータは全て消去されますのでご注意ください。

※一度、本製品で初期化されたハードディスクは、他の機器による初期化を行わない限り、再度登録設定を行っても初期化されることはありません。例えば、本製品でハードディスクを登録後、本製品の設定を初期化してもハードディスクを再度登録設定を行えば、再び録画された番組を視聴したり、新たに録画することができます。

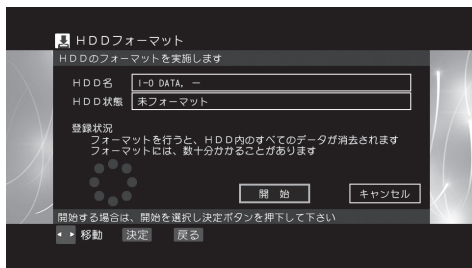
➜参考 **本製品にハードディスクを接続する。【P.22】**

1

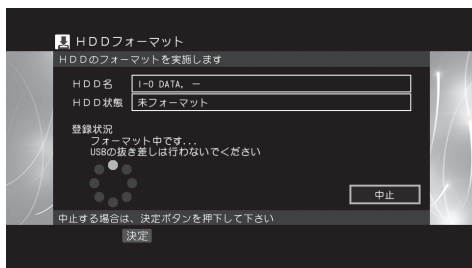
未登録の新しいハードディスクを接続すると、右記のメッセージが表示されます。「はい』を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

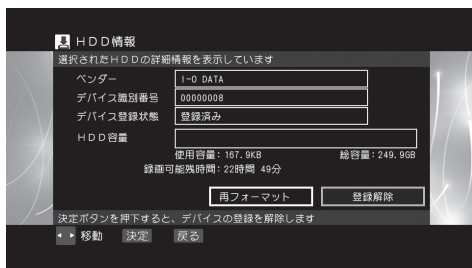
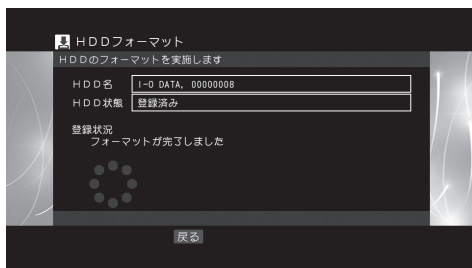
ハードディスクの情報が表示されますので、リモコンの 決定 ボタンを押して登録作業を開始します。

➜次へ **次のページに続きます。【P.44】**

3

ハードディスクが未フォーマットだった場合にはフォーマット画面が表示されますので、「開始」を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

⚠注意 ※フォーマットを行うとハードディスク内のデータは全て消去されますのでご注意ください。

4

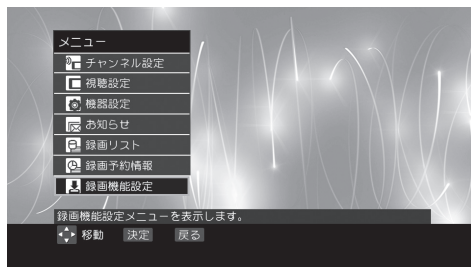
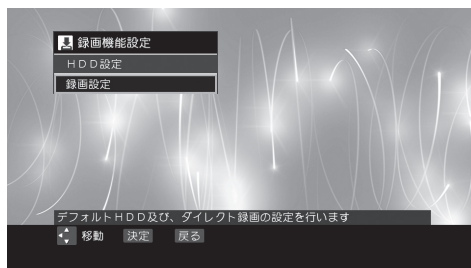
フォーマットを行います。作業が完了するまでしばらくお待ちください。また、機器が破損する原因となりますのでフォーマット作業中は電源を切ったり、USB 機器を抜き差ししないでください。

5

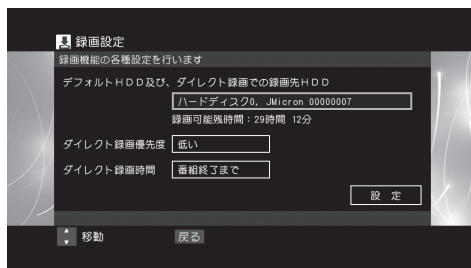
フォーマットが完了すると自動でハードディスクの登録も完了します。リモコンの 戻る ボタンを押すとハードディスクの登録情報が表示されます。

ハードディスク録画の設定をする

本製品で予約録画を行ったり、視聴中の番組を録画する場合の基本設定を行います。

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。〔録画機能設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔録画機能設定〕メニューから〔録画設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

録画先のハードディスクを設定します。複数のハードディスクが接続・登録されている場合は「◀」「▶」ボタンで選択出来ます。ダイレクト録画設定は、視聴中の番組を録画する際の基本設定となります。

ダイレクト録画優先度：「低い」、「ふつう」、「高い」から選択します。
録画予約が番組の延長などで重複した場合の録画優先度を設定します。

➜参考 **録画予約の優先度を設定する。【P.50】**

ダイレクト録画時間：「番組終了まで」、「30 分」、「1 時間」、「1 時間 30 分」、「2 時間」、「3 時間」、「4 時間」から選択します。
視聴中に録画を開始した場合、設定した時間で録画を終了します。「番組終了まで」を選択した場合は、電子番組表から取得した番組終了時間まで録画を続けます。

電子番組表（EPG）から番組を予約する

電子番組表から番組を選択して録画予約を設定するには、以下の手順で行います。

➜参考　電子番組表（EPG）を使用する。【P.42】

1

リモコンの [番組表] ボタンを押して、電子番組表を表示します。番組を選択してリモコンの [決定] ボタンを押してください。

2

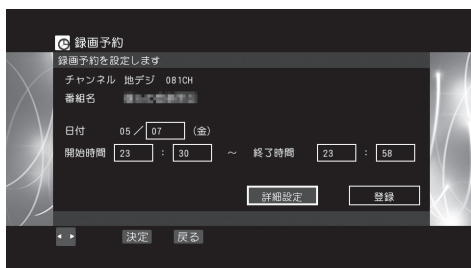
番組の詳細情報が表示されます。リモコンの [決定] ボタンを押してください。

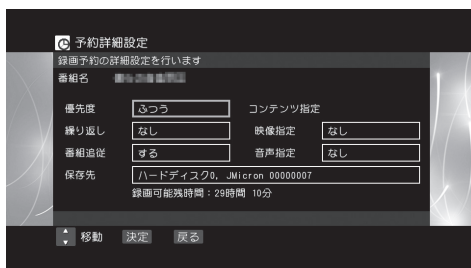
3

録画予約情報が表示されます。P.45 で行った基本設定のまま録画を行う場合は、このまま〔登録〕を選択してリモコンの [決定] ボタンを押してください。

➜参考　ハードディスク録画の設定をする。【P.45】

4

録画先のハードディスクを変更したり、録画条件を変更したい場合は〔詳細設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

5

〔予約詳細設定〕の画面が表示されます。変更したい項目を設定してリモコンの 決定 ボタンを押します。

優先度：番組の延長などで録画予約が重複した場合の優先度を設定します。

→参考 **録画予約の優先度を設定する。【P.50】**

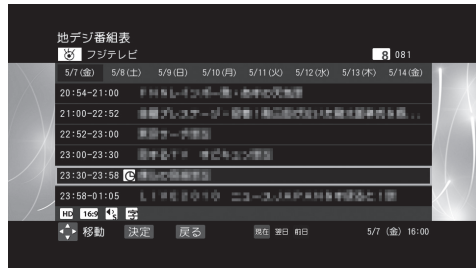
繰り返し：「毎日」、「毎週」、「月～金」、「月～木」、「月～土」から繰り返して録画する設定を選べます。
番組追従：スポーツ番組などの番組延長を自動で番組終了まで録画します。
保存先：録画保存先のハードディスクを選択します。複数のハードディスクが接続・登録されている場合は「◀」「▶」ボタンで選択できます。

⚠注意 **※番組追従ありでの繰り返し予約の場合、番組名とある一定の割合で一致する番組を初回予約番組の前後 3 時間の時間範囲から検索し予約対象としています。その為、番組名の一致する割合が低い番組や、初回予約番組の前後 3 時間を超える番組の追従は出来ません。**

※同じ日の中で番組の開始時間は異なるが、番組名が同じ番組を同時にくり返し予約した場合、各々のくり返し対象が重なる可能性があります。重複があった予約は、どちらか一方の繰り返しグループのみにしか属しません。

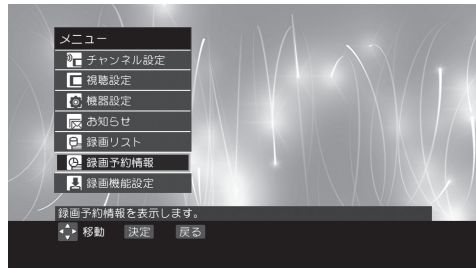
→次へ **次のページに続きます。【P.48】**

6

予約設定が完了すると、電子番組表の予約した番組欄には が表示されます。

予約した番組を確認する

予約した番組の一覧を表示します。

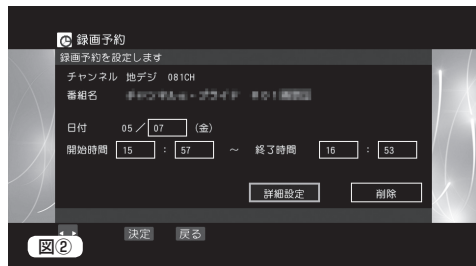
1

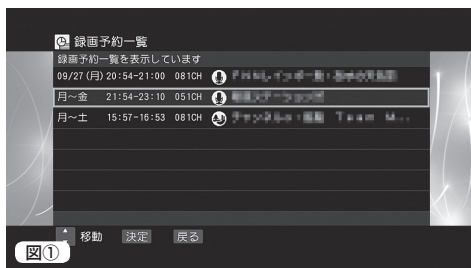
リモコンの [メニュー] ボタンを押して設定メニューを表示します。
〔録画予約情報〕を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。

2

録画予約されている番組の一覧が表示されます。（図①）
番組を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押すと、選択した番組の詳細な予約情報が表示されます。（図②）

図①

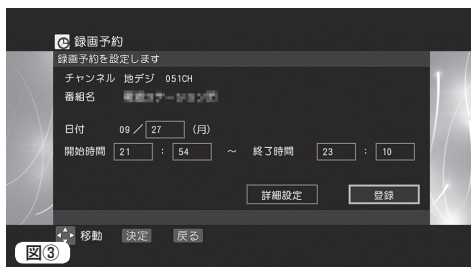
図②

3

繰り返し予約を行った番組は、日時の部分が繰り返し設定のスケジュール表示となり、予約グループとして表示されます。（図①）

図①

繰り返し予約のグループを選択して、リモコンの 決定 ボタンを押した場合は、グループ内の詳細な予約情報が表示されます。（図②）

図②

グループ内の番組を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押すと、番組の予約情報が表示されます。（図③）

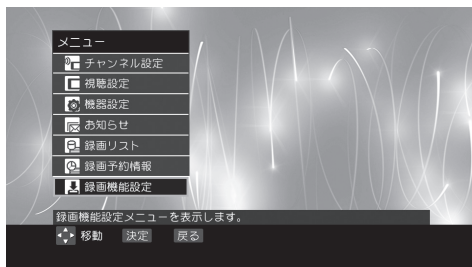
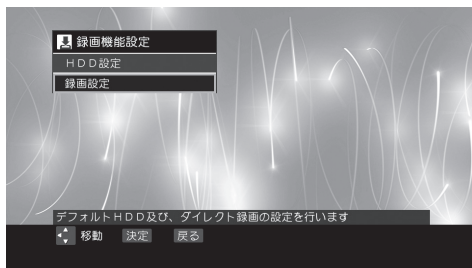
図③

録画予約の優先度を設定する

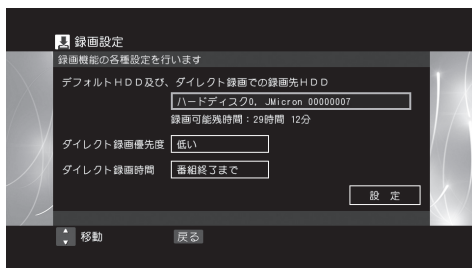
録画予約をしたスポーツ番組などの放送時間が延長し、他の録画予約と重複してしまった場合の録画優先度を設定します。

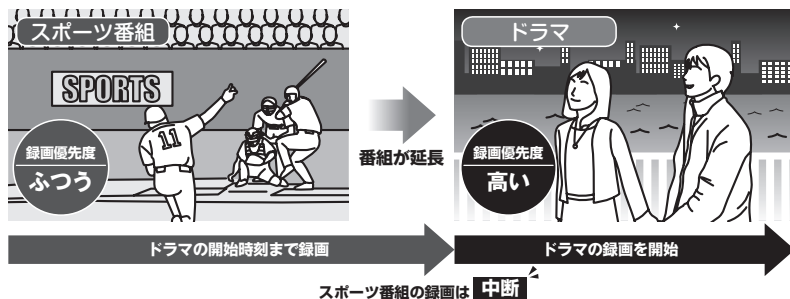
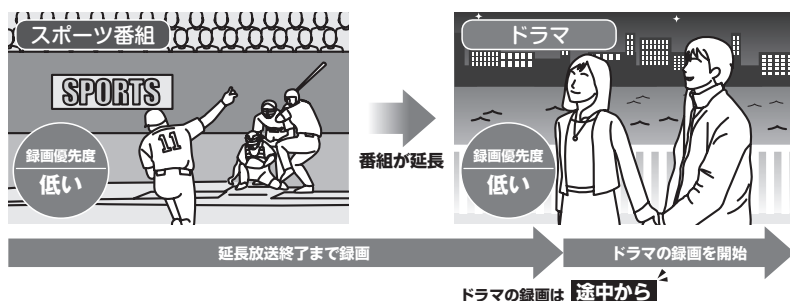
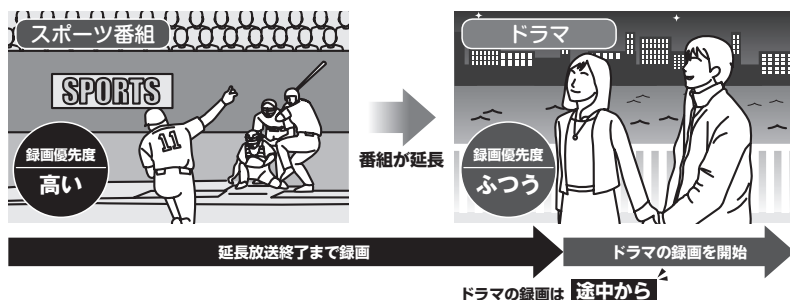
⚠注意 **※ここではダイレクト録画時の基本設定として説明していますが、番組表録画を行う際の優先度設定（P.45）も設定内容と設定した結果は同じです。**

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。
〔録画機能設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔録画機能設定〕メニューから〔録画設定〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

3

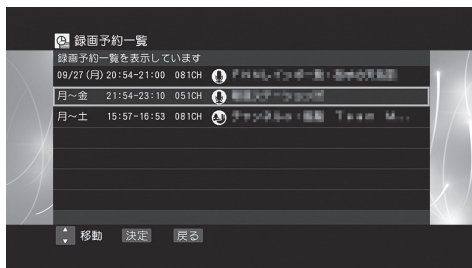
録画予約情報が表示されます。〔ダイレクト録画優先度〕を選択し、「低い」、「ふつう」、「高い」からダイレクト録画を行ったときの録画優先度を選択します。

録画優先度の関係

例：スポーツ番組の後に他チャンネルのドラマの予約が入っていて、スポーツ番組が延長した場合

スポーツ番組の優先度が「ふつう」、ドラマの優先度が「高い」に設定してあった場合、スポーツ番組は、ドラマ録画開始時刻で録画を中断し、ドラマの録画を開始します。

スポーツ番組、ドラマの優先度が両方とも同じ優先度に設定してあった場合、現在録画中の番組を優先して、放送終了時間まで録画します。スポーツ番組を延長放送終了まで録画し、スポーツ番組録画終了後にドラマの録画を開始します。

スポーツ番組の優先度が「高い」、ドラマの優先度が「ふつう」に設定してあった場合、スポーツ番組を延長放送終了まで録画し、スポーツ番組録画終了後にドラマの録画を開始します。

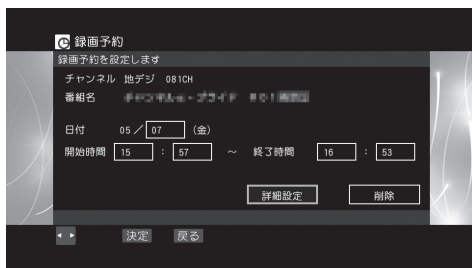
予約した番組を取り消す

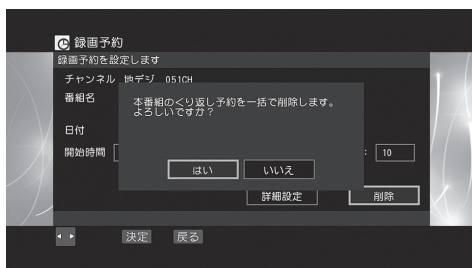
録画予約の取り消しを行います。

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。
〔録画予約情報〕を選択して、録画予約一覧を表示します。

➡参考 予約した番組を確認する。【P.48】

2

録画予約一覧から、予約を取り消したい番組を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押して、番組の予約情報を表示し、「削除」を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押してください。

3

繰り返し予約のグループを取り消す場合は、グループ内の予約一覧からどれか一つを選択し、❷と同じ手順で番組の予約情報を表示し、「削除」を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押してください。
繰り返し予約を一括で削除するか確認ダイアログが表示されます。
繰り返し予約を取り消す場合は「はい」を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押してください。

現在視聴している番組を録画する（ダイレクト録画）

現在視聴している番組を番組の終了まで、または決められた時間単位で録画します。

リモコンの［●］（録画）ボタンを押してください。現在視聴中の番組の録画を開始します。この場合の録画設定は〔録画機能設定〕で設定した「ダイレクト録画優先度」と「ダイレクト録画時間」の設定が使用されます。また、電子番組表から現在放送中の番組を選択し、録画予約を行うと、その時点から「ダイレクト録画時間」で設定された終了時間まで録画を実行します。
録画を停止する場合は、再度［●］（録画）ボタンを押す事で、録画を停止する確認メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと録画は停止されます。

予約録画、ダイレクト録画を停止する

予約録画・ダイレクト録画で録画中の番組を停止します。

録画を停止する場合は、リモコンの［●］（録画）ボタンを押す事で、録画を停止する確認メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと録画は停止されます。

➔参考　**リモコンのボタンを確認する。【P.12】**

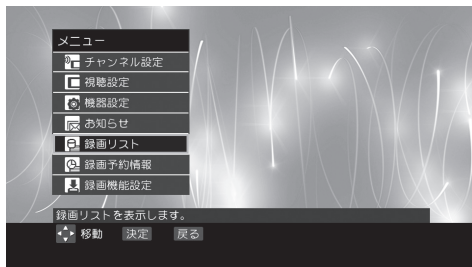
➔参考　**電子番組表（EPG）を使用する。【P.42】**

➔参考　**ハードディスク録画の設定をする。【P.45】**

録画した番組を再生する

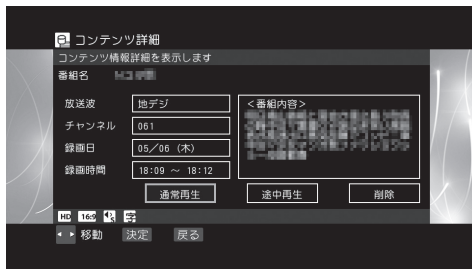
ハードディスクに録画した番組を視聴します。

1

ハードディスクに録画した番組を視聴するには、リモコンの 録画リスト ボタンを押すか、 メニュー ボタンを押して設定メニューを表示し〔録画リスト〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

録画された番組の一覧が表示されます。視聴したい番組を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押してください。
※録画用ハードディスクが複数接続されている場合は、最初にハードディスク選択画面が表示されます。まず、再生したい番組を録画したハードディスクを選択してください。

3

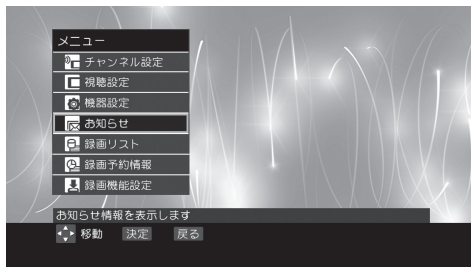
選択した番組の〔コンテンツ詳細〕が表示されます。「通常再生」「途中再生」のいずれかを選択して、リモコンの 決定 ボタンを押してください。
通常再生：録画番組を最初から再生します。
途中再生：録画番組を以前停止した位置から再生します。

再生中に方向キーの▶	押すたびに 4 段階（2 倍、4 倍、8 倍、20 倍）の早送り再生をします。
再生中に方向キーの◀	押すたびに 4 段階（2 倍、4 倍、8 倍、20 倍）の巻き戻し再生をします。
※**早送り中、巻き戻し中は音声は出力されません。**	
再生中に方向キーの▼	約 30 秒後の位置から再生をします。
再生中に方向キーの▲	約 15 秒前の位置から再生をします。

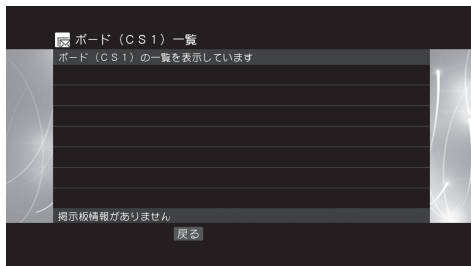
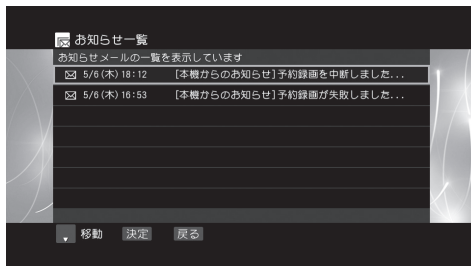
➔参考 リモコンのボタンを確認する。【P.12】

お知らせを表示する

本製品のアップデート情報やエラー情報、110 度 CS 放送局などからのお知らせを表示します。

1

リモコンの メニュー ボタンを押して設定メニューを表示します。〔お知らせ〕を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押します。

2

〔お知らせ〕メニューから〔お知らせメール〕（本製品からのアップデートやエラーなどのお知らせ）〔ボード（CS1）〕〔ボード（CS2）〕（CS 放送局からのお知らせなど）を選択して、リモコンの 決定 ボタンを押しください。それぞれのメッセージの一覧が表示されます。メッセージを選択してリモコンの 決定 ボタンを押すとメッセージの詳細が表示されます。

お知らせメール内に未読のメールがある場合には、画面バナー上部の右端にメールアイコン ✉ が表示されます。

録画した番組・ハードディスクを管理する

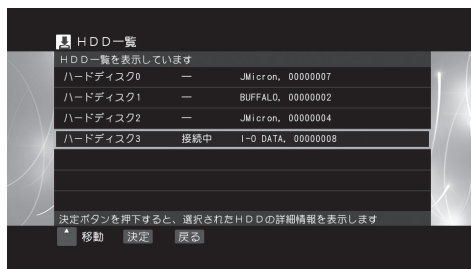
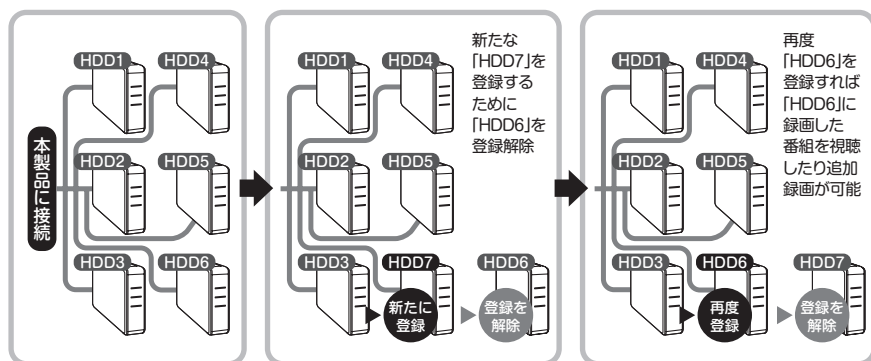
本製品では、市販の USB2.0 規格のハードディスクを最大 7 台まで接続、6 台まで登録※して番組録画を行うことが可能です。また、ハードディスクを繋ぎ替えて使用する事で台数無制限でハードディスクに録画・再生を行うことができます。

※ 7 台を同時に使用する事はできません。使用できる同時最大数は 6 台です。残りの 1 台は、後述のように登録を切り替えての使用となります。

⚠注意 ※本製品にて登録したハードディスクは、個別のハードウェアを識別する設定が施されます。1 度登録したハードディスクは登録を行った製品でのみ録画・再生が可能です。本製品を複数台使用する場合でもハードディスクの共用はできません。別な機種で登録を行うにはハードディスクの初期化が必要となります。

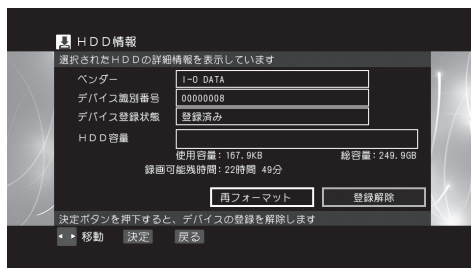
複数のハードディスクを使用する

本製品で録画・再生を行うには必ずハードディスクの登録が必要です。

リモコンの メニュー ボタンを押して、〔録画機能設定〕から〔HDD 設定〕を選択し、リモコンの 決定 ボタンを押すことで、登録されているハードディスクの一覧を表示する事ができます。

一度登録を行ったハードディスクは登録を解除しても初期化を行わない限り内容が消去される事はありません。本製品のハードディスクの最大登録数は 6 台ですが、ハードディスクの登録を解除して、別なハードディスクを登録して使用する事で 6 台以上のハードディスクを使用して録画・再生を行うことができます。

➔参考 **新しいハードディスクを登録する。【P.43】**

ハードディスクの登録を解除する

登録されているハードディスクを解除して別なハードディスクを登録出来るようにします。

〔HDD 一覧〕から登録を解除するハードディスクを選択し 決定 ボタンを押すと〔HDD 情報〕が表示されるので、「登録解除」を選択し、 決定 ボタンを押してください。ハードディスクの登録が解除されます。

⚠注意 ※ハードディスクの登録を解除しても登録した機器以外で使用するにはハードディスクの初期化（再フォーマット）を行う必要があります。

ハードディスクの容量と録画可能時間

録画用ハードディスクの容量と録画可能時間の一覧です。

HDD容量	HD放送（BS:最大24Mbps）	HD放送（地デジ:最大20Mbps）	SD放送（最大8Mpbs）
320GB	約 28 時間	約 34 時間	約 84 時間
500GB	約 44 時間	約 53 時間	約 131 時間
1.0TB	約 88 時間	約 106 時間	約 262 時間
1.5TB	約 132 時間	約 159 時間	約 393 時間

※録画可能時間はあくまで一般的な目安です。ご使用環境によっては変動します。

ハードディスク録画の制限事項

本製品でのハードディスク録画・再生には以下の制限があります。

【録画可能なデジタル放送】

・地上デジタル➡全チャンネル
・BS デジタル（無料 / 公共放送（NHK BS デジタル））➡※[1] BS1、BS2
・BS デジタル（無料 / 無料放送（民間放送））➡※[1] BS3 ～ BS15
・BS デジタル（有料 /WOWOW）➡加入契約が必要
・BS デジタル（有料 / スターチャンネル）➡加入契約が必要
・110 度 CS デジタル（スカパー !e2）➡加入契約が必要

※[1] 衛星放送契約が必要です。

※上記の放送でも番組毎にデジタルコピーが禁止されている番組は録画ができません。

【録画した番組の制限】

・本製品は一般的なハードディスクレコーダーなどと異なり、ムーブ・コピーなどは行えません。
・本製品で録画した番組は、録画を行った機器でのみ再生が可能です。

付録

トラブル時の対処方法や、用語集、チャンネル一覧などを記載しています。

エラーコード一覧

本製品で異常が起こった場合表示されるエラーコードの一覧です。

エラー種別	コード	メッセージ	原因	対処方法
全般のエラー	E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	非放送番組を選局した場合	通常の放送チャンネルを選局してください。
	E202	信号が受信できません。	アンテナの接続に不具合がある、またはチャンネルの設定が合っていない場合	アンテナの接続、およびチャンネルの設定が合っているか確認してください。
	E203	現在放送されていません。	現在放送されていない、または放送休止中の場合	番組ガイドなどで放送時間を確認してください。
	E209	アンテナとの接続を確認してください。	アンテナ線の芯線がショートしている場合	アンテナ線を確認してください。
	E210	この受信機ではこのチャンネルは受信できません。	受信機に対応していないチャンネルを選局した場合	このチャンネルはご覧いただけません。
	A102 A104 A105 A106 A107 A1FF	この IC カードは使用できません。	B-CAS カードが登録されていない場合	この IC カードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。
	EC01	この IC カードは使用できません。正しい IC カードを装着してください。	無効な IC カードが装着されている場合	この IC カードは使用きません。正しい IC カードを装着してください。
	EC02	この IC カードではご覧になることができません。	カード ID が不正の B-CAS カードが挿入されている場合	この IC カードではご覧いただけません。カスタマーセンターへご連絡ください。

エラー種別	コード	メッセージ	原因	対処方法
全般のエラー	**6400**	IC カードの交換が必要です。	B-CAS カードが故障している、または交換が必要な場合	IC カードの交換が必要です。カスタマーセンターへご連絡ください。
	―	IC カードを正しく装着してください。	B-CAS カードが挿入されていない場合	IC カードを正しく装着してください。
	A103	このチャンネルは契約されていません。	未契約の有料放送を選択した場合	このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
	8901	このチャンネルはご覧いただけません。	未契約の有料放送を選択した場合	このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
	8902 8502 8302	契約期限が切れています。	契約期限が過ぎている有料放送の場合	契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
	8903 8503 8303	このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。	視聴が制限されているチャンネルの場合	視聴条件によりご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
視聴関連	―	このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	リモコンのボタンにチャンネルが存在しない場合	このチャンネル（ボタン）は、存在しません。
	―	番組詳細情報を表示できません。	録画コンテンツの再生中に番組詳細を表示しようとした場合	録画コンテンツの再生中は、番組詳細は表示できません。
	―	切り替えられる音声がありません。	マルチ音声ではない番組の場合	この番組は音声を切り替えることができません。

エラー種別	コード	メッセージ	原因	対処方法
視聴関連	ー	録画中のため表示できません。	録画中に表示できない画面を選択した場合	この画面は表示できません。 表示する場合は、録画を停止してから切り替えてください。
	ー	出力先ＨＤＤが満杯のため録画ができません。	録画の出力先に設定されている HDD の容量が満杯の場合	HDD にある録画済みコンテンツを消してから録画してください。 または、別の HDD を接続して出力先を変更してから録画してください。
	ー	録画先のＨＤＤが設定されていません。	録画の出力先が設定されていない時に録画をしようとした場合	" 録画先設定 " にて出力先の HDD を設定してください。
	ー	エラーが発生したため録画が開始出来ませんでした。	何かしらの要因により、録画が出来なかった場合	サポートセンターへお問い合わせください。
	ー	時間が重複した予約があります。録画優先度を確認してください。	即時録画にて録画を開始した際に、時間の重なる登録済みの予約録画がある場合	即時録画の録画時間と重複する録画予約情報が存在します。重複している時刻に達した場合、優先度に準じて録画が実施または中断されますので、" 録画予約情報 " から各々の優先度をご確認ください。

困ったときは

本製品のご使用上で良くあるトラブルの事例と対処方法を記載しています。

症　状	原　因	対　策
電源が入らない	電源ケーブルがコンセントまたは本製品から外れている。	電源ケーブルをコンセントおよび本製品に接続してください。
映像や音声が出ない	テレビの接続が間違っている。	接続コードの接続を確認して正しく接続してください。
	入力を正しく選択していない。	テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。
	本製品やテレビのミュート (消音) が有効になっている。	リモコンの［消音］ボタンを押して消音機能を無効にしてください。 テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。
リモコンで操作できない	電池が入っていない。	電池をリモコンにセットしてください。
	電池の入れ方が間違っている。	電池の極性（+、−）を確認して、正しく入れてください。
	リモコンをテレビに向けている。	リモコンは本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。
	リモコンと本製品の間に障害物がある。	障害物をなくすか、避けてお使いください。
	リモコンと本製品の間隔が遠い。	リモコンを本製品に近づけて操作してください。
テレビで見たとき端（外周部）の映像がカットされている、もしくは映像がずれて見える	一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。 テレビによってカットする量に差があり、テレビによっては映像の端 (外周部) がカットされて見えたり、左右または上下にずれて見えることがあります。	
BS 放送・110 度 CS 放送が視聴出来ない	BS・110 度 CS アンテナが接続されていない。	BS・110 度 CS 放送を受信するには専用アンテナが必要となります。また、マンションなどの地上波デジタル / BS・110 度 CS 混合アンテナの場合は別途「BS/U·V 分波器」が必要となります。
	加入契約を行っていない。	BS 放送の一部（WOWOW など）と 110 度 CS 放送の視聴には加入契約が必要となります。また、BS 放送の受信には別途「衛星放送契約」が必要となります。
録画が出来ない	HDD の空き容量が無くなった。	空き容量のある新しいハードディスクを接続するか、録画されている番組を削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。
	番組がデジタル録画禁止になっている。	番組によってはデジタル録画が禁止されているものがあります。その場合は番組の録画はできません。

地上デジタル放送チャンネル一覧

地上波デジタル放送のチャンネル一覧です。受信レベルやチャンネルスキャンの結果を確認する際の参考にお使いください。

地域	チャンネル	放送局名
北海道(北見)	1	HBC 北見
	2	NHK 教育・北見
	3	NHK 総合・北見
	5	STV 北見
	6	HTB 北見
	7	TVH 北見
	8	UHB 北見
北海道(旭川)	1	HBC 旭川
	2	NHK 教育・旭川
	3	NHK 総合・旭川
	5	STV 旭川
	6	HTB 旭川
	7	TVH 旭川
	8	UHB 旭川
北海道(釧路)	1	HBC 釧路
	2	NHK 教育・釧路
	3	NHK 総合・釧路
	5	STV 釧路
	6	HTB 釧路
	7	TVH 釧路
	8	UHB 釧路
北海道(帯広)	1	HBC 帯広
	2	NHK 教育・帯広
	3	NHK 総合・帯広
	5	STV 帯広
	6	HTB 帯広
	7	TVH 帯広
	8	UHB 帯広
北海道(札幌)	1	HBC 札幌
	2	NHK 教育・札幌
	3	NHK 総合・札幌
	5	STV 札幌
	6	HTB 札幌
	7	TVH 札幌
	8	UHB 札幌
北海道(室蘭)	1	HBC 室蘭
	2	NHK 教育・室蘭
	3	NHK 総合・室蘭
	5	STV 室蘭
	6	HTB 室蘭
	7	TVH 室蘭
	8	UHB 室蘭

地域	チャンネル	放送局名
北海道(函館)	1	HBC 函館
	2	NHK 教育・函館
	3	NHK 総合・函館
	5	STV 函館
	6	HTB 函館
	7	TVH 函館
	8	UHB 函館
青森	1	RAB 青森放送
	2	NHK 教育・青森
	3	NHK 総合・青森
	5	青森朝日放送
	6	ATV 青森テレビ
岩手	1	NHK 総合・盛岡
	2	NHK 教育・盛岡
	4	テレビ岩手
	5	IAT 岩手朝日テレビ
	6	IBC 岩手放送
	8	岩手めんこいテレビ
宮城	1	TBC テレビ
	2	NHK 教育・仙台
	3	NHK 総合・仙台
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB 東日本放送
	8	仙台放送
秋田	1	NHK 総合・秋田
	2	NHK 教育・秋田
	4	ABS 秋田放送
	5	AAB 秋田朝日放送
	8	AKT 秋田テレビ
山形	1	NHK 総合・山形
	2	NHK 教育・山形
	4	YBC 山形放送
	5	YTS 山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK 総合・福島
	2	NHK 教育・福島
	4	FCT 福島中央テレビ
	5	KFB 福島放送
	6	テレビユー福島
	8	福島テレビ

地域	チャンネル	放送局名
千葉	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	3	チバテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
茨城	1	NHK 総合・水戸
	2	NHK 教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
栃木	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	3	とちぎテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	3	群馬テレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	3	テレ玉
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学

地域	チャンネル	放送局名
東京	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	3	tvk
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	テレビ東京
	8	フジテレビ
	12	放送大学
山梨	1	NHK 総合・甲府
	2	NHK 教育・甲府
	4	YBS 山梨放送
	6	UTY
新潟	1	NHK 総合・新潟
	2	NHK 教育・新潟
	4	TeNY テレビ新潟
	5	UX 新潟テレビ 21
	6	BSN 新潟放送
	8	NST 新潟総合テレビ
長野	1	NHK 総合・長野
	2	NHK 教育・長野
	4	テレビ信州
	5	abn 長野朝日放送
	6	SBC 信越放送
	8	NBS 長野放送
富山	1	KNB 北日本放送
	2	NHK 教育・富山
	3	NHK 総合・富山
	6	チューリップテレビ
	8	BBT 富山テレビ
福井	1	NHK 総合・福井
	2	NHK 教育・福井
	7	FBC 福井放送
	8	福井テレビ

●地上デジタル放送のチャンネルを、地域別に表示してあります。他地域の放送を受信した場合、チャンネルと放送局名が異なることがあります。

●地上デジタル放送はリモコンの［1］～［12］のボタンで直接選局できます。
（P.26 の「本製品の初期設定」を行ってください）

●地上デジタル放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されることがあります。

地域	チャンネル	放送局名
石川	1	NHK 総合・金沢
	2	NHK 教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO 北陸テレビ
	8	石川テレビ
静岡	1	NHK 総合・静岡
	2	NHK 教育・静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	あさひテレビ
	6	SBS 静岡放送
	8	テレビ静岡
愛知	1	東海テレビ
	2	NHK 教育・名古屋
	3	NHK 総合・名古屋
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	10	テレビ愛知
岐阜	1	東海テレビ
	2	NHK 教育・名古屋
	3	NHK 総合・岐阜
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	8	岐阜テレビ
三重	1	東海テレビ
	2	NHK 教育・名古屋
	3	NHK 総合・津
	4	中京テレビ
	5	CBC
	6	メ～テレ
	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK 総合・大津
	2	NHK 教育・大阪
	3	BBC びわ湖放送
	4	MBS 毎日放送
	6	ABC テレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ

地域	チャンネル	放送局名
京都	1	NHK 総合・京都
	2	NHK 教育・大阪
	4	MBS 毎日放送
	5	KBS 京都
	6	ABC テレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
大阪	1	NHK 総合・大阪
	2	NHK 教育・大阪
	4	MBS 毎日放送
	6	ABC テレビ
	7	テレビ大阪
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
兵庫	1	NHK 総合・神戸
	2	NHK 教育・大阪
	3	サンテレビ
	4	MBS 毎日放送
	6	ABC テレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
奈良	1	NHK 総合・奈良
	2	NHK 教育・大阪
	4	MBS 毎日放送
	6	ABC テレビ
	8	関西テレビ
	9	奈良テレビ放送
	10	よみうりテレビ
和歌山	1	NHK 総合・和歌山
	2	NHK 教育・大阪
	4	MBS 毎日放送
	5	テレビ和歌山
	6	ABC テレビ
	8	関西テレビ
	10	よみうりテレビ
鳥取	1	日本海テレビ
	2	NHK 教育・鳥取
	3	NHK 総合・鳥取
	6	BSS 山陰放送
	8	山陰中央テレビ

地域	チャンネル	放送局名
島根	1	日本海テレビ
	2	NHK 教育・松江
	3	NHK 総合・松江
	6	BSS 山陰放送
	8	山陰中央テレビ
岡山	1	NHK 総合・岡山
	2	NHK 教育・岡山
	4	RNC 西日本放送
	5	KSB 瀬戸内海放送
	6	RSK テレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHK 岡山放送
広島	1	NHK 総合・広島
	2	NHK 教育・広島
	3	RCC 中国放送
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS テレビ新広島
山口	1	NHK 総合・山口
	2	NHK 教育・山口
	3	tys テレビ山口
	4	KRY 山口放送
	5	yab 山口朝日放送
高知	1	NHK 総合・高知
	2	NHK 教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
徳島	1	四国放送
	2	NHK 教育・徳島
	3	NHK 総合・徳島
香川	1	NHK 総合・高松
	2	NHK 教育・高松
	4	RNC 西日本放送
	5	KSB 瀬戸内海放送
	6	RSK テレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHK 岡山放送
愛媛	1	NHK 総合・松山
	2	NHK 教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日テレビ
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛

地域	チャンネル	放送局名
福岡	1	KBC 九州朝日放送
	2	NHK 教育・福岡
	2	NHK 教育・北九州
	3	NHK 総合・福岡
	3	NHK 総合・北九州
	4	RKB 毎日放送
	5	FBS 福岡放送
	7	TVQ 九州放送
	8	TNC テレビ西日本
佐賀	1	NHK 総合・佐賀
	2	NHK 教育・佐賀
	3	STS サガテレビ
長崎	1	NHK 総合・長崎
	2	NHK 教育・長崎
	3	NBC 長崎放送
	4	NIB 長崎国際テレビ
	5	NCC 長崎文化放送
	8	KTN テレビ長崎
熊本	1	NHK 総合・熊本
	2	NHK 教育・熊本
	3	RKK 熊本放送
	4	KKT くまもと県民
	5	KAB 熊本朝日放送
	8	TKU テレビ熊本
大分	1	NHK 総合・大分
	2	NHK 教育・大分
	3	OBS 大分放送
	4	TOS テレビ大分
	5	OAB 大分朝日放送
宮崎	1	NHK 総合・宮崎
	2	NHK 教育・宮崎
	3	UMK テレビ宮崎
	6	MRT 宮崎放送
鹿児島	1	MBC 南日本放送
	2	NHK 教育・鹿児島
	3	NHK 総合・鹿児島
	4	KYT 鹿児島読売 TV
	5	KKB 鹿児島放送
	8	KTS 鹿児島テレビ
沖縄	1	NHK 総合・那覇
	2	NHK 教育・那覇
	3	RBC 琉球放送
	5	QAB 琉球朝日放送
	8	OTV 沖縄テレビ放送

製品仕様

項　目	規　格	
入力周波数	地上デジタル	90 ～ 770MHz
	BS/110 度 CS デジタル	1032 ～ 2071MHz
受信チャンネル	地上デジタル	VHF　1ch ～ 12ch
		UHF　13ch ～ 62ch
		CATV　C13ch ～ C63ch
	BS デジタル	BS1ch ～ 23ch
	110 度 CS デジタル	ND1 ～ ND24
使用温度範囲		5 ～ 35℃
使用湿度範囲		20 ～ 80%（結露のないこと）
動作時消費電力		14W（衛星アンテナへの給電がないとき）
待機時消費電力		0.2W
外観寸法		242.8（W）× 58.4（H）× 174.0（D）（mm：突起部含まず）
質量		約 1.2Kg
入力端子	地上デジタル	75 Ω　F 型コネクタ
	BS/110 度 CS デジタル	75 Ω　F 型コネクタ（最大 DC15V、4W）
出力端子	映像	1 系統（ピンジャック）
	D4 映像	1 系統
	音声	1 系統（ピンジャック）
	光デジタル音声	1 系統（角型）
	HDMI	TYPE-A 端子（1.3a）
その他端子	LAN 端子	2 系統（100BASE-T / 10BASE-T）
	USB 端子	2 系統（USB2.0）
無線 LAN インターフェース ※本製品では使用しません（2012 年　3 月現在）		IEEE802.11b/IEEE802.11g WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK

ネットワークの設定

本製品AKB-PVR102では、次のネットワーク設定を行なうことにより、リアパネルのPCおよびLAN端子によりイーサネットが利用可能になります。

設定前の注意事項

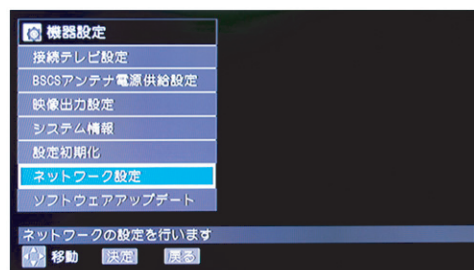
この設定は、お客様のネットワーク環境、コンピュータおよびオペレーションシステム、ハードディスクなど周辺機器等、固有の環境を想定しておりません。この設定は、ネットワークやオペレーションシステムに十分な知識をお持ちの方のために書かれています。

弊社では、本製品以外の周辺機器（ハードディスク）について、取り扱うファイルの保証をしておりません。また、本製品以外の動作および不具合に付いても一切の保証、対応を致しませんので、あくまで自己責任の上でご利用頂く事になります。設定前に、このことを十分にご考慮頂き始めて下さい。

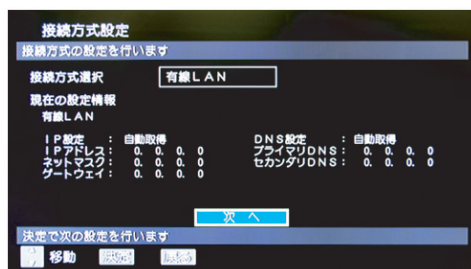
1

メニューボタンを押し、機器設定を選んで下さい。
リモコンの 決定 ボタンを押してください。

2

メニューのネットワーク設定を選んで下さい。
リモコンの 決定 ボタンを押してください。

➔次へ　次のページに続きます。【P.66】

3

この画面にて、接続方法の設定を行ないます。有線ＬＡＮを選び、後に「次へ」を選びリモコンの 決定 ボタンを押して下さい。
次画面に移動します。

4

この画面にて、ＩＰアドレスの設定を行ないます。自動取得を選んで下さい。（ネットワークについて十分な知識をお持ちの方は、手動も可能ですが、不十分な方にはお勧めできません。）後に「次へ」を選び 決定 ボタンを押して下さい。次画面に移動します。

5

この画面にて、ネットワーク設定したＩＰアドレスの取得状況が確認できます。問題が無いときは、メニューを終了し、電源をオフして一旦AC電源を遮断して下さい。これにより、ネットワーク設定が確定します。PC側からは、AKB-PVR102のIPアドレスをエクスプローラのアドレスバーに入力することで、Publicというフォルダが見えます。Publicフォルダ以下に接続しているHDD台分のフォルダが現れます。

⚠注意

ネットワークの設定には、高度な知識が必要です。十分な知識が無く、作業することは危険です。また、お客様ごとに、ネットワーク、ＯＳおよび周辺環境が異なりますので、弊社がネットワークを含む環境の動作にサポートすることは一切有りません。６５ページ、６６ページの内容についてのご質問は、一切お受けすることが有りません。又、HDD内のデータの破壊についても、保証する物では有りません。あくまで、自己責任にてお取り扱い下さい。

地上/BS/110度CS デジタルハイビジョンチューナー

AKB-PVR102

最新のマニュアルは、弊社のホームページに掲載されます。http://www.akibastock.com/

2012/04/02